



舞台上で力いっぱい合唱をする田代中の1・2年生



## 田代中学校 合唱コンクールで金賞受賞

1月21・22日に県内中学校のクラス合唱を対象とした県中学校音楽コンクール「春の祭典」が鹿児島市で開催され、田代中学校1・2年生が中学2年の部門で金賞を受賞しました。

9月から約4か月間、朝活動の時間や昼休み、放課後も使い、1・2年生が協力して練習しました。また、プロの合唱指揮者に指導を受けたり、大会出場のためにバザーや空き瓶回収を行うなど地域の方の協力をもらい大会に臨みました。2年生の近川 花心さんは「曲の解釈を考えるだけで強弱のある優しい合唱になりすごいと思いました。本番では、大きな拍手が聞こえたのでうれしかったです」という感想でした。



## せっがいで 五穀豊穡・無病息災！

五穀豊穡と無病息災を願う節分行事の「せっがい(鬼火焚き)」が1月29日または2月3日に田代地区の各地区公民館や自治会ごとで行われました。準備には、地域の小学生から大人まで協力し、やぐらを組みました。

「せっがい」の歴史は古く約100年以上続いていると言われており、名前の由来は季節の変わり目を表す「節変わり(せつがわり)」がなまって「せっがい」となったそうです。大原小学校3年生の石田 紬さんは、「竹を運んだり、縛ったりするお手伝いをした。パチパチ燃えているのは少し怖かったけど、来年もまた見たい」と話しました。



麓地区の鬼火焚き



## 平成28年度 鹿児島県指導農業士認定

2月3日、錦江町から3名の農業経営の方々が指導農業士として鹿児島県知事に認定されました。白井 浩一さんと段 優一さんは主に甘藷などの露地野菜、宿利原 進さんはタバコや大根などを主に栽培しています。

指導農業士とは、優れた農業経営を実践し、青年農業者の育成に対する熱意と指導力のある農業者を「指導農業士」として知事が認定するもので、地域農業を支える青年農業者等の育成を支援して頂く役割を担える方が認定されます。



(左から白井 浩一さん、宿利原 進さん、段 優一さん)



## 特産品が大好評!! 錦江町「田舎市場」を開催しました。

2月17日から26日まで鹿児島市のオプシアミスマで錦江町と姉妹町の与論町の特産品販売を行いました。原製菓舗さんの期間限定いちご大福や錦江町産レンコンなどの商品も並び、連日多くの方が販売コーナーに訪れてくださいました。また今年初めての試みとして、オプシア内の和食レストラン「和心創味 凜」で錦江町の食材を使用したランチを提供し、ランチ食事後に「ランチに使用した食材を買いだせ」と来店くださる方もいました。

販売には純心女子短期大学の学生がインターン実習として携わり、インターネットを使った商品宣伝や商品紹介のポップづくりをして販売を盛り上げました。



さつまいもの詰め合わせでにぎわう販売コーナー